

## グループインタビュー③

参加団体	重要	困難・課題
高知市地域防災推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域や学校との連携や、若い世代を巻き込んだ防災活動への支援</li> <li>地域との信頼関係を築いていくこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>顔の見える関係づくりを防災対策部だけで進めるのは困難</li> <li>自主防災組織ができていない地域への関わり</li> </ul>
高知市地域共生社会推進課	<ul style="list-style-type: none"> <li>複雑化・複合化した課題を抱える世帯への支援を複数の部署と連携して取り組むこと</li> <li>ゴミ出しや電球交換など、ちょっとした困りごとを住民同士の支え合いで解決する地域づくり</li> <li>新しい発想で主体的に取り組む職員の意識</li> <li>地域活動も義務感ではなく自分事としてとらえてもらう</li> <li>何のためにこの協議会があって、この会議があるのかをしっかりと共有すること</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会の現状や将来像、それを踏まえて取り組んでいる地域共生社会の実現に向けた取組を多くの市民に伝え、住民意識の醸成を図るにはどうしたらいいか</li> </ul>
高知市小・中学校PTA連合会	<ul style="list-style-type: none"> <li>連携協議会なども、学校の先生に関わってもらうこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助金をもらうにしても、その事務処理が大変</li> <li>学校の課題や起こっている問題を地域に伝えられず、閉ざされた学校であること</li> <li>会議へ出席しても意味がないと感ずることがある</li> </ul>
春野地区小・中学校運営協議会 (学校：春野中学校)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方々の力・専門性・強みを学校教育に活かしていくこと</li> <li>学校が地域の課題に参画することによって、学校も地域も一緒に元気になること</li> <li>教職員の地域への関わりが義務感にならないこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>お金がない（教育委員会の微々たる予算しかない）</li> <li>地域で子どもを育てるという意識を教職員にも根付かせること</li> </ul>
特定非営利活動法人アテラーノ旭	<ul style="list-style-type: none"> <li>困ったときに困ったと言える関係性</li> <li>毎日顔を合わせることによってできる信頼関係づくりを行政でも学校でもない、「地域」がやること</li> <li>利用者に何かをしてあげるばかりではなく、自分たちが困っていることがあれば「助けて」と伝えることで、お互いが「助けて」を言しやすい関係をつくる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の人の話を聞いたり、その人たちをつなぐ役割をしたいけど、お金のことを考えるとできない</li> </ul>

### 課題・困難を乗り越えていくためにどんな連携・協働があるか

地域の自主防災組織の活動と学校行事や防災教育を結びつけることで、防災活動を幅広い年齢層に広げることができる。

コミュニティスクールの取組を保護者に浸透させ、何かあれば教育委員会へ電話する今のやり方を変える

職員の意識改革、若い職員のやる気を後押し

困ったときに困ったと言える関係の構築

教育委員会のコミュニティスクールを推進する体制をもっと充実させる

まちづくりに対する補助金の拡充

↓  
地域の方の困りごとを聞いたり、人と人をつないだり、地域の見守りにも補助金が出たらもっとやりたいことができる

地域の一人ひとりに社会の現状と高知市の取組を知ってもらい、ご近所同士の「支え合い」・「お節介」で地域の困りごとを解決してもらう

補助金申請の簡素化